

9月17日(木曜日)「敵を愛せ(4)」

【新改訳 2017】

ルカ 6.35-38

「ただ、自分の敵を愛しなさい。彼らによくしてやり、返してもらうことを考えずに貸しなさい。そうすれば、あなたがたの受ける報いはすばらしく、あなたがたは、いと高き方の子どもになれます……」(35 節)

ここには、さらに具体的に、敵を愛する勧めが記されています。最初の「ただ」は、「しかし」とも訳されています。心情としては、無条件に愛することを強調しているように思われます。

「返してもらうことを考えずに貸す」「さばかない」「赦す」「与える」ことを、自分から始めなさいというのです。そうすれば、祝福され、神の子どもらしくなると主は言われたのです。

私たちはどうでしょうか。借りても返さず、赦しを求めながら人を責め、人にさばかれると不快なのに自分は人をさばき、受けることを要求しながら与えようとはしない

のではないのでしょうか。天の父のあわれみ深さにあずかって、神の子どもらしく生かしていただくではありませんか。

～祈り～

主よ。今一度、十字架の愛を覚えさせてください。あなたの愛をいただいて、敵を愛し、本当に困っている人たちを助けることができますように。

【学びのために】

いと高き方の子ども:全能の聖なる、父なる神の子ども。